概 要 版

小山町上野・湯船原地区
生物多様性に優れたまちづくり計画

静 岡 県　小 山 町

■計画策定の趣旨

2024 年 3 月に「第 2 次小山町環境基本計画」が策定されました。計画では「富士山とともに生きる　豊かな水と緑にあふれる　持続可能なまち　おやま」を目指す環境像とし、その実現に向けて 5 つの環境目標が設定されました。一方で、静岡県の「ふじのくにのフロンティアを拓く取組」の推進事業として、上野・湯船原地区に 3 つの大規模な工業団地を創出しました。また、周辺では新東名高速道路（仮称）小山パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置に伴い新たな土地利用が始まっています。

このような社会情勢の中、身近な自然環境の消失、交通量・人の往来の増大に伴う外来生物の侵入など、生物多様性は危機的な状況になることが懸念されます。そこで、生物多様性保全のための長期的な取組みを行うため、土地利用の変化が激しい上野・湯船原地区において**「小山町上野・湯船原地区生物多様性に優れたまちづくり計画」**を策定します。開発された地区周辺の自然環境を保全し、新たに生物多様性に優れた環境を創出することで、「富士山とともに生きる　豊かな水と緑にあふれる　持続可能なまち　おやま」の環境像の実現を目指します。

■上野・湯船原地区の自然環境

●概況

上野・湯船原地区に「富士山麓フロンティアパーク小山」、「新産業集積エリア工業団地」、「上野工業団地」の３つの大規模な工業団地が創出され、「上野工業団地」の北側には「アグリインダストリーエリア」として大規模な農地造成が行われました。周囲には富士スピードウェイ、東京電力新富士変電所などの民間施設が立地し、近接地に新東名高速道路（仮称）小山パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置が予定されています。

●自然環境

かつて落葉広葉樹林（クヌギーコナラ群集）が広がり、所々に植林地も見られました。工業団地の造成後は法面などに樹木の植栽が行われています。周辺の残地森林は、ナラ枯れの影響などで立枯れた広葉樹や倒木が目立ち、林床にはササ類の繁茂が見られます。

●動植物

当該地では静岡県版レッドリストや環境省レッドリスト掲載種として、マヤラン、キンラン、ハコネグミ、ハチクマ、オオタカ、サンショウクイ、オオムラサキなどの希少な動植物が確認されています。

●現況と課題

上野・湯船原地区周辺ではさらなる開発が進められており、町の大きな活力となっている一方で、自然環境との調和が課題となっています。そのため、開発時の環境配慮の徹底を図ることに加え、開発後の自然環境のモニタリングが重要になります。

【動植物】

生物多様性に関する調査、貴重種の保護、外来種対策は十分な取組みが行われていない状況であり、調査の実施や情報の収集が必要です。また、7 種の特定外来生物の分布が確認されており、早急な対策が必要となります。

【工業団地周辺の緑地の再生】

企業の有する森林や緑地などは、環境省が実施している「自然共生サイト」への登録を推進し、

30by30 目標の達成に向けて OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）の拡大に寄与することが求められています。

【環境保全活動】

工業団地では各企業が個別に活動していくのではなく、連携しながら情報を共有するとともに、課題の早期対応を図っていくことが必要となります。

■小山町上野・湯船原地区生物多様性に優れたまちづくり計画

●基本計画の理念

当該地は静岡県が推進する「ふじのくにフロンティア」に認定された地域産業集積事業推進区域として、複数の工業団地が短期間に開発整備されました。開発された地域は典型的な里山景観を有する自然豊かなエリアであり、「第 2 次小山町環境基本計画」の理念に基づき、生物多様性保全に対し実効性のある具体的な環境保全に取り組む必要があります。

●計画の期間

本計画の期間は、「第 2 次小山町環境基本計画」の目標年次を踏まえ、2025（令和 7）年度から 2033（令和 15）年度までの 9 年間とし、2028（令和 10）年度に中間見直しを行います。

●今後の取り組み

①生物多様性保全に関するモニタリング調査

当該地では開発後の動植物の現状が明らかになっていません。そこで、同地区内で動植物調査を実施し、生物相の現状を把握します。

②多様な生態系の保全・再生の検討及び実施

モニタリング調査の結果を踏まえ、多様な生態系の保全・再生対策を検討します。同時進行で自然環境の再生が可能な地域を調査し、再生計画を作成します。合意形成が得られた候補地から保全・再生計画を実行していきます。

③環境学習・環境保全活動の推進

生物多様性に対する地域住民や進出企業への関心を高め保全・再生活動を推進するために、生きもの観察会やモニタリング調査で得られた情報の発信に取り組みます。

●生物多様性に優れたまちづくりへの提言

地域の特性や課題を明らかにした上で、地域ならではの生物や里山の自然生態系を保全する方策を構築することが重要であると考えます。工業団地内の緑地帯を適正に保全することに加えて、絶滅危惧種などの貴重種を担保できるビオトープの整備、猛禽類のような広域環境に依存する希少種なども頻繁に利用する里山環境を自然保護エリアとして抽出するなど地域の生物多様性保全・再生計画を策定し、環境学習などの戦略的な行動計画を検討します。

町の木:ふじ桜

町の花:菜の花

町の鳥:うぐいす

小山町上野・湯船原地区
生物多様性に優れたまちづくり計画

令和７年４月

小山町くらし環境課
〒410-1395　静岡県駿東郡小山町藤曲 57-2
TEL：0550-76-6130　FAX：0550-76-4770
URL：http://www.fuji-oyama.jp